

# 東京JCへのエール!

## 石原伸晃氏 (行政改革・規制改革担当大臣)

JCを世間から見るとどちらかというと経営側の感覚ですね。そのJCが志民社会ということも画期的ですし、JCメンバーがNPO活動を主体的にやっていけばNPOへのある種の偏見も払拭できて税制面でもみんな揃ってNPOを育てていこうと思います。



## 北の湖敏満氏 (財団法人日本相撲協会理事長)

一番感じるのはわんぱく相撲を教育の一環としてやっているという点です。心の鍛練はわんぱく力士はまだ小学生ですから難しい面はありますが、やはり親と子が一つになっている、それは十分伝わっていると思います。教育も大事ですが、親と子供が輪になっていくという大事さは、それ以上の徳があるというんでしょうね、私はそこを一番感じます。



## 細川佳代子氏 (特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本理事長)

エールではなくてお願いですが、青年会議所は1年単位で組織が変わってしまうので継続的に取り組めないのは凄く残念です。取り組まなければならぬテーマは次々にパトタッチして、引き続きやっていただきたいですね。



## 川淵三郎氏 (財団法人日本サッカー協会会長 キャプテン)

少子化によって余った施設を、地域社会・子供たちとどう活性化していくかというのは、JCのやる仕事だと思います。東京JCがそういうことに取り組んで成功例ができると、日本全国のJCがみんな真似します。そこに値打ちがありますよね。



## 塩澤好久 (東京JC2001年度理事長・2002年卒業生)

この大改革の時代に20年後の未来に責任のとれる青年としてJC運動に関わることの重要性を今、改めて自問自答してみよう。53年前にこの日本にJC運動の火を灯した創始のLOMとしての内なるプライドと高い志、強い覚悟を持って運動に邁進して頂くことを切望します。観客や評論家ではなくプレーヤーとして変革の能動者として、今改めて、新日本の再建は我々青年の仕事である。JCマンよ 自然なたれ!!



## 村田浩敏 (東京JC2002年度政策顧問・2002年卒業生)

改めて宣言しよう。東京JCたるもの、新経済市民団体として、ノーブレスオブリージの気概を持ち、インターフェイス 主体的仲介者 役割を担い、未来志向・理想型の運動までも視野に入れ、真に明るい豊かな社会を実現せんがために邁進すべし。Be smart! Tokyo-JC



## 長岡信裕 (東京JC2002年度専務理事・2002年卒業生)

政治、経済共にまだまだ混沌は続き、ますます社会状況は厳しくなり、JC運動する環境もさらにきつくなる事かと思えます。そんな中ですが、是非お一人お一人が、うまく時間をお作り頂き、「いつか、どこかで、誰かがやるだろう」という受け身な考え方でなく、「今、ここで、まず自分が何をすべきか」といった能動的な、積極的な考え方を、活動して頂きたいと思えます。「俺がやらなくて誰かやるんだ」という自責の念、気概を持って頑張ってください。



## 山 佳一 (東京JC2002年度副理事長・2002年卒業生)

1月号の座右の銘にも書きましたが、「義を見てせざるは勇無きなり」正義が何かを知りながら、それを行なわないという事は勇気が無いことです。正しいと思う事には「志」と勇気を持って、青年らしく堂々と行動を起こしてください。新世紀日本の再建を青年の責務として...。入会から約11年間、本当にお世話になりました。



編集後記  
いやー、早かったです。1年。昨年の今頃は初めての編集作業にでんでんご舞いしていたのを思い出します。何しろ、今まで社内NEWSをセコセコ作った程度の経験しかなく、新聞の企画・編集・印刷などというのは未知の世界!まさしく自己修練、しかしながら田辺特別委員長をはじめ、スタッフのサポートのおかげ何とか乗り切ることができました。また、1年を通じて原稿をご執筆いただきましたメンバーの皆様本当にありがとうございました。思い出せば、いろいろとありました。『表紙デザイン決めに迷ったこと』『本当にこの企画でいいのだろうか?』『原稿が集まらずやきもきしたこと』『それ以来バイク乗り仲間(ワグナリ)がいて便利ですね!』『どれも楽しい思い出です。さて、来年私は、総務・情報室を担当させていただきますことになりました』『東京JCNEWS』ホームページ/メルマガ止、より一層の充実を委員会メンバーと一緒に頑張って行ってきたいと思えます。皆さん1年間ご協力いただき、本当にありがとうございました。皆様もよろしくお願ひ致します。  
広報特別委員会 副委員長  
東京青年会議所新聞担当 西村剛毅  
中津江村、ベッカム、日本代表の活躍 プラザリ/藤巻と、火山の話題を振りまいたW杯、私も鹿島、横浜、韓国大原にて3試合観戦し、横浜で観戦したロシア戦での日本の勝利とソウル市内の熱狂を生で体験したことは一生の思い出となりました。  
さて、2002年度東京JCの運動と活動が集約された東京JCニュース年末特集号、いかがでしたか?是非、東京JCを知って感じて頂ければ幸いです。  
私たち東京JC2002年度広報チームは、メールマガジンの定期配信、東京JCニュース誌面のリニューアル、ホームページの再構築など全てのメディアについてゼロベースから抜本的に改革すべくスタートを切り、デザイン、使用する写真や文庫などのクリエイターの向上など総力をこめて取り組みました。2003年度は広報部長が理事特別委員長として、松本二朗君が広報情報委員長として中長期的な視野に立ち、皆様と東京JCの情報もより輝くのを、情報としてお届いたします。2003年度東京JCと広報メディアにご期待下さい。社団法人東京青年会議所 理事 広報特別委員会 特別委員長 田辺真一 一年間ご協力ありがとうございました。

# 2003年度 東京JC年間スローガン 今再び、変革の能動者とし